

塾長の独り言 NO123 H21 .5 .6

「ネコ型社員の時代」

GW に読んだ面白い本をご紹介します。「ネコ型社員の時代」という著書です。

「自己実現」に幻想を持たず、出世のためにあくせくせず。滅私奉公に背を向けつつも、得意分野では爪を磨く。そんなネコ型社員が増殖している。忠犬型社員だけでは、企業は生き残れない。

鍵を握るのは、気まぐれなようであり、タフでしたたかなネコ型社員である。

彼らが生まれた背景とは？会社の閉塞感、職場のギスギス感をなくするためのヒントがふんだんに盛り込まれた、目からウロコの一冊。(ネコ型社員の時代 山本直人 新潮新書より一部抜粋)

この本のタイトルを見て何か気になった人は、以下の質問に答えて頂きたい。

つまり あなたの「ネコ型」度をチェックしてみよう

ネコ型社員度テスト

1. 偉くなるより仕事の腕を磨きたい
2. 仕事では持続力より瞬発力が大切だと思う
3. 仕事より遊びが好きなのは普通のことだ
4. 集団で同じ行動をするのは苦手である
5. やたらと「会社のために」と言う人は何だか信頼できない
6. 仕事を楽しめ、と言われても困る
7. 「自分を大切にすることはいかに大切だと思う
8. 今の若者は夢がない、と言う大人は変だと思う
9. 自己実現とか考えすぎてもしょうがない
- 10 会社の上司には内弁慶が多いと思う

さて、どうだったでしょうか？ イエスの数で大体「ネコ型社員度」がわかるはずだ。

9個以上 立派なネコ型社員です。迷わずネコ型ライフを送って下さい。

6~8個 潜在型ネコ型社員です。おそらく本当はネコ型なのですが、いろいろな事情で...

3~5個 混血ネコ型社員です。一部ネコ型の要素、今後ネコ型が開花するかは不確定。

0~2個 非ネコ型社員です。真っ当な普通の社員であると同時に周りのネコ型に苛立っている...

「ネコ型」社員とは、昭和の日本企業で典型的と思われていた「勤勉イメージ」とは遠く、かといって自己実現に邁進するビジネスマンとも異なる、どこか掴み所のない社員。

集団主義より先自分中心に動き、決して能力がないわけではないのに、上昇志向の緩い社員。

つまり動物で例えればネコ型としか言いようのない社員のことで、大体次のような特徴がある。

ネコ型社員の特徴

1. 滅私奉公より 自分を大切にすること
2. アクセクするのは嫌だが、やる時はやる
3. 自分のできることは徹底的に腕を磨く
4. 隙あらば遊ぶつもりで暮らしている
5. 大目標より先毎日の幸せを大切にすること

このような社員は今の若手を中心にジワジワと増加していると思う。又、今までの働き方に疑問を持ったため中年でもネコ型に転じ始めている傾向がある。

さて、あなたのネコ型度はいかがでしたか？

ちなみに、私は7つ。立派な潜在型ネコ型社員でした。以前の会社員の時代は、間違いなく「忠犬型社員」でしたが・・・中年になる、そして現在の仕事と共に、次第にネコ型になったみたいですね。

あの映画「釣りバカ日記」の浜ちゃんなんか典型的なネコ型社員ですね。

自分勝手、しかし自分のやりたいことは全力発揮。

そしてどこか憎めない、そんなネコ型のキャラクターですね。

他には、スポーツ選手では、サッカーの中田英、野球のイチロー、野茂、松坂などなど考えれば、ネコ型で実績を出している人たちも多いですね。

しかし、これは一部の実力世界の中での一部の人たち。

つまりは創造性を発揮しなければならない世界では必要不可欠なもの。

ネコは人からの指示を受けるのではなく勝手に「やっている」のである。

スキルは高いが命令に応じて行動はしない。これは会社員としては、かなり困ったことではある。だが、実際のネコ型社員も似たような面がある。

「忠誠」といふ発想とは縁が遠いのである。「上昇」といふ意欲も薄い。

犬や馬は、ご褒美をもらえばとても喜ぶ。

企業では、何かの目標を設定して、それをクリアすれば昇進やらボーナスやらのご褒美がある。

「目の前にニンジンをつぶさずして」といふような表現をすることがあるが、まさにそれである。

そこには、社員には「上昇意欲」があるという大前提があった。

それが、ネコ型社員には通用しないのである。

一つの例が「出世したくない公務員」・・・その傾向がジワジワと広がって表れてきた！

「管理職に魅力を感じない」「自信がない」「仕事と家庭を両立したい」などの理由

しかし、ネコ型社員には、天敵がいる。「粘土上司」という彼らは、ネコ型の価値観の対極にいる。つまり「上昇」が好きで、そのための「忠誠」が当然だと思っている。

「根性論」「勤勉は美德」「頑張ればどうにかなる」といふ価値観である。

ネコは「忠誠」といふ押し付けは嫌うものの、「信義」は大切にす。

「上昇」に対して幻想は抱いていないにせよ、「向上心」はキチンと持っている。

<コメント>

この厳しい経済環境下こそ、タフでしたたかな働き方が求められる。

近年増殖を続けているように見えるネコ型社員であるが、今こそ力を発揮する時だし、企業においても活用する度量が求められる。

ネコ型社員が目立ってきたのは、それなりの理由がある。

そしてその流れは今後も変わらない。

つまり、職場におけるネコ型社員が力を発揮できるようにしないと、ビジネスは回っていかない。

「ネコ型」をキーワードにして、これからの働き方を共に考えてみたいと思います。

「自分を大切にしてほしい。自分を大切にすれば、他の人のことも大切にできる。」

イチローの言葉です。若い人にとって納得感も強いようです。